

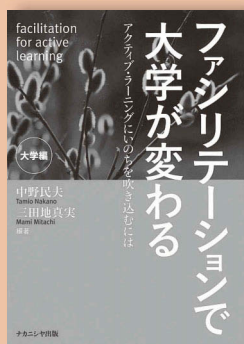
今月の 新刊紹介



これなら使える 看護介入 厳選 47NANDA-I 看護診断への看護介入 第2版

編：江川隆子
発行：医学書院
定価：3400 円＋税

「NANDA-I」の看護診断と成果分類・看護介入とのリンケージを、豊富な文献検索により、具体的に示した。特に日本の臨床でよく用いられる 9 領域 47 の各看護診断について一連の流れで示している。看護師自身が実践の場で活用、検証し、看護介入技術をより確かなものにするための必携書。



ファシリテーションで 大学が変わる：大学編 アクティブ・ラーニングに いのちを吹き込むには

編著：中野民夫／三田地真実
発行：ナカニシヤ出版
定価：2200 円＋税

今後、高等教育で最も求められるものは、「対話」である。限られた時間で、今ここで起こるプロセスに対応するために、教員には相当念入りで周到な仕掛けが求められる。その解決策が「アクティブ・ラーニングにいのちを吹き込む」ファシリテーション。著者らの現場実践から解決策を学ぶ。



新人看護師の成長を 支援する OJT

著：西田朋子
発行：医学書院
定価：2400 円＋税

本誌好評連載を改題し書籍化。連載の内容に大幅な加筆および新規内容の追加を行い、さらに内容が充実。学習者である新人を中心に据えた OJT 実践のポイントに加え、そのペースとして学んでおきたい成人学習理論など知識も収めた。教育担当者が共感しながら読める 1 冊。



死ぬとはどのようなことか 終末期の命と看取りのために

著：ジャン・ドメニコ・ポラージオ
訳：佐藤正樹
発行：みすず書房
定価：3400 円＋税

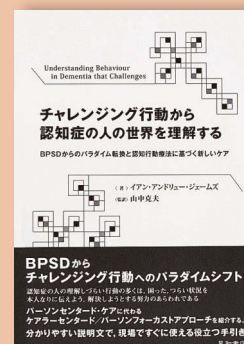
緩和医療に携わるドイツ医師による、「人が死ぬこと」を論じたベストセラー。著者は、終末期患者の事前意思表示書の法制化にも指導的役割を果たした。死への準備を遅らせるのは不安であり、不安を和らげるのは医療者を含む周囲の人々との対話による信頼だと説く。よりよい終末期を支えるための 1 冊。



医療福祉総合ガイドブック 2016 年度版

編：NPO 法人日本医療ソーシャルワーク研究会
発行：医学書院
定価：3300 円＋税

執筆者の「利用者のために意を尽くそう」という理念と視点が貫かれ、医療・福祉領域、社会生活全般での社会資源の活用方法を、高齢者、子ども、被災者、生活困難者など対象者を分け、丁寧に分かりやすく解説。日本の社会保障の仕組み全体を俯瞰する医療福祉関係者必携の書。



チャレンジング行動から 認知症の人の世界を理解する BPSD からのパラダイム転換と 認知行動療法に基づく新しいケア

著：イアン・アンドリュー・ジェームズ
監訳：山中克夫
発行：星和書店
定価：2300 円＋税

理解しづらく関わりづらい認知症の人の行動を、「本人なりに困ったつらい状況を変えよう、解決しよう、周囲に思いを伝えよう」と努力した結果、すなわちチャレンジング行動と捉え、1 人ひとりの特徴に焦点を当てたケアを組み立て、現実的に実施していくためのプロセスを具体的に解説した書。